

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 5 月 3 1 日

事業所名 たまキッズルーム豊田

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	1	0		トイレに段差有。肢体の子は利用不可。
	2	職員の配置数は適切である	7	1	0	0		現在は足りている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4	2	0		空間は十分だがバリアフリーではない。 視覚で情報伝達できるように工夫が必要。 危険防止等の補強が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	0	0		環境構成は今後の課題。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	4	0	0	始業、終業時に振り返りを行っている。 子どもの情報共有が職員間でできている。	これからの部分と出来ているところ両方。 体制変更に伴い、業務改善継続中。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	0		評価表を見てない職員もいる
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	3	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	6	0		今後協力を得て行っていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	0	0		
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	2	0	0		更新できていない状況があり、体制も変わったので、協力して作成したい。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	4	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2	0	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	2	0	0	体制が変わり努力している	今後さらに細分化していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	0	0	日常的に児童の共有を行い、療育内容の企画、相談、協力ができている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	0	日常的に児童の共有を行い、療育内容の企画、相談、協力ができている。	

提 供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成している	3	3	2	0	日常的に児童の共有を行い、療育内容の企画、相談、協力ができている。	個別はできていない。体制が整い次第、目的をもって分けて行っていきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	0	日常的に児童の共有を行い、療育内容の企画、相談、協力ができている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	0	日常的に児童の共有を行い、療育内容の企画、相談、協力ができている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	0	日常的に児童の共有を行い、療育内容の企画、相談、協力ができている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	2	0	0		振り返りはしている状況。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	3	2	0		定期的ではない。ある場合、参加予定。存在自体の把握が足りない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	3	0	発達支援センター エールと連携を取っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	3	0	発達支援センター エールから情報を受け取っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	3	0		今後連携が必要。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	5	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	0	7	0		
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	1	6	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	1	面談を実施。	連絡帳で伝えているが、一方通行な様子もある。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	2	5	0		今後行いたい。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	0	0		周知していない職員もあり、引継ぎが必要。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	0	0		周知していない職員もあり、引継ぎが必要。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0	0		定期的にはないが、している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	6	1		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	3	0	ブログを発信	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	0	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	0		
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7	0		地域に向けた行事は開催できず。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	4	0	0	保護者への案内はしている。	マニュアルはあるが、保護者、職員への周知については今後の課題。
	42	4e	5	3	0	0		救出訓練は行っていない。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	1	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	1	0	医師の指示書はないが、不安なものは除去している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	1	0	ファイリングしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	0	0	定期的に行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	4	1	0		ある場合、記載を考える。今後確認していく。

放課後等デイサービス事業における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 5月 31日

事業所名 たまキッズルーム豊田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	2	0		・2部屋使って丁度よい。 ・曜日によっては超える場合もある。その場合狭さを感じる。
	2	職員の配置数は適切である	6	2	0	0		・現在は足りている。日によっては少ない。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	0	7	0		・トイレに段差あり。廊下入り口など、狭くて車椅子等通れるか不明。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	5	0	0		・これからの部分と出来ているところ両方。 ・体制変更に伴い、業務改善継続中。 ・全職員が参画（意見交流）している。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2	0	0		・面談を行っている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	2	0		・今年度から行う。これから公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	5	0		・今後協力を得て行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	0	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	0	0		・今後半年かけて行いたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	3	0		・ツールはあるはず。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	0	0	・月毎にアイデアを集めている。	・今後行いたい。 ・パート含め、職員が積極的に療育活動の企画・相談を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	0	・月毎に設定している。	・パート含め、職員が積極的に療育活動の企画・相談を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	3	1	0		・休暇期間の事等、全体で今後話せると良い。 ・体制整い次第行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	0	・3月はできていなかったが、5月からはできている。	・個別は今後。現在は集団活動のみ。
	15	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	0		・もう少し役割など細かくできそうな所もありそう。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	0		
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	3	0	1		
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	2	0	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	4	0	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	1		

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている						
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている						
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	1	1		
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	3	1		
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	3	1		
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	8	0		
	28	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	2	5	1		
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	0	0		
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	1	4	1		
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	0		
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	0	0		
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	7	0		
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	0		
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	3	0	・ブログを発信	・今後毎月の療育スケジュールを告知する予定。 ・療育ごとの目的等伝えられたら良い。
	36	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	0	0		
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	0		
非常時等の対応	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7	0		
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	7	0	0		・コロナ対策については都度案内している。 ・周知はいまいちしていない。どこまでしているか分からない。 ・マニュアルはあるが、周知・対応面は今後行っていく予定。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3	0	0		・年二回の避難訓練は行っている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	1	0	・医師の指示書はないが、不安なものはない。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4	0	0	・報告・記載のみ。ファイリングしている。	・指示書はない。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	0	0		・把握していない。 ・今後予定。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	3	1	0		・周知できていない。